

小海中だより

2022. 3. 17
＜特別号＞

小海中学校ホームページ＜<http://www.koumi-jhs.ed.jp/>＞からもご覧いただけます。



小海町北相木村南相木村中学校組合立小海中学校

第39回 卒業証書授与式挙行＜3月17日(木)＞

令和3年度卒業生39名が、第39回の卒業証書授与式にて、一人一人卒業証書を学校長より受け取りました。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして、ご家族の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。そして、地域の皆様、小海町、北相木村、南相木村、組合立教育委員会の皆様、多くの方々に小海中学校の教育活動へのご理解とお支えを承り、第39回の卒業証書授与式を挙行できましたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

学校長式辞

南佐久に吹く風にも、懐とした冷たさだけでなく、優しい温かさや命の芽吹きの香りが感じられる季節となりました。感染症や戦争関連のニュースに気持ちの晴れない時もありますが、このような状況であるからこそ、桜の咲く春の訪れが待ち遠しく、新たな希望を大切にしたいと強く願わずにはられません。

この度は、黒澤小海町長様、井出北相木村長様、中島南相木村長様をはじめ、教育委員会の皆様、松井PTA会長様のご臨席を賜り、令和三年度 組合立小海中学校の卒業証書授与式を挙行できますことに、心から感謝し、厚く御礼申し上げます。

三十九名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。先ほど一人一人が手にした卒業証書は、中学校三ヶ年の教育課程とともに義務教育の九ヶ年を終えた証です。これまで、みなさんと喜怒哀楽を共にして寄り添いお支えくださったご家族のみなさん、さまざまな場面で成長を見守り励まし続けてくださった地域の方々のおかげで、今ここに自分がいることを忘れないでください。

「太陽 みんながつながり ひとつの輝きへ」を旗印に全校の先頭に立って取り組んだ生徒会活動、一人一人が役割を果たして輝いた清流祭、笑顔がいっぱいの修学旅行など、みなさんの成長していく姿に、いつも元気ももらっていました。また、清掃や部活動などに誠実にひたむきに取り組む姿、感染症対策により制限された諸活動においても、できることに前向きに取り組む姿から、あるべき姿を私たち大人が教えられた思いです。

私は三年生の歌声が好きです。清流祭の学年合唱「あなたへ」は心を動かす力のあるものでした。今でも自然に涙が出てきそうです。それは歌声の美しさだけでなく、思いが込められていたからだと思うのです。みなさんは意識していないかもしれませんが、相手の心を動かす表現の一つの形を示してくれたと感謝しています。

これからみなさんは大人への階段を一步一步上っていきます。例えば十八歳になると選挙権を得ることになります。さまざまな義務と権利を自分の責任で行使することになります。この先の人生において、良いことも嬉しいことも悲しいこともたくさんあります。そんなときに考えてほしいメッセージを贈ります。

「困ったら騒ぐ 嬉しい時はじっと周りを見渡す」

困ったら騒ぐということは、混乱して騒ぐということではなく、悩んだり困ったりしている時は、先ず自分で考えてみて、ダメだったら周りの人に助けを求めるといことです。黙っていたり、あきらめたりしたら良い方向には進みません。困ったという意味表示をすることです。嬉しい時には、喜びをいっぱい感じながら、周りに悲しんでいる人や困っている人がいないか見てみましょう。困った時やちょっと浮かれていると思った時に思い出してください。そして、困っている人がいたらそっと手を差し延べることができる人になってください。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございます。立派に成長されたお子様を前に皆様のお慶びも、ひとしおのことと存じます。大切なお子様のますますのご健勝、そしてご活躍をお祈りするとともに、これまで私どもにお寄せいただいた温かなご理解とご支援に、深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

卒業生がお世話になりました全ての皆様に感謝を申し上げ、卒業生一人一人がこれからの前途洋々たる未来に太陽のように輝くことを祈念し、私からの式辞といたします。

令和四年三月十七日

小海町北相木村南相木村中学校組合立小海中学校長 小坂 寿樹



送 辞<在校生代表 菊原 あやめ さん>



厳しい寒さも和らぎ、きらめくような日差しの中、卒業を迎えられた卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表し、心よりお祝い申し上げます。

今、皆さんはこの小海中学校での3年間をどのように振り返っているのでしょうか。多くの人との出会いの中でたくさんの経験をし、様々な思い出を築き上げてきたことと思います。常に私たち後輩の前を歩き、お手本となってくださった先輩方の背中、私たちにかけてがえのないものを残してくださいました。

皆さんはこの一年間、「太陽～みんながつながり一つの輝きに～」を生徒会スローガンとして掲げ、私たちを引っ張ってくれました。なかでもアルミ缶収集では、日本一周などの企画をつくるなどの工夫により、全校生徒が積極的にかかわれるようになりました。その結果、施設に歩行器を寄付することができました。

生徒会最大の行事である清流祭では、感染症が流行している中、三年生が一丸となって、全校で最高の思い出になるようにと試行錯誤し、協力し合う姿に感動しました。音楽祭での3年生の合唱「あなたへ ～旅立ちに寄せるメッセージ～」では、皆さんの歌声が一つとなって、体育館に響きわたったとき、胸が熱くなり、私たちもこんなふうに歌いたいと強く思いました。

また、部活動でも私たちの先頭に立ち、リーダーシップを発揮してくださいました。練習や大会、コンクールでかけていただいた言葉に何度も助けられました。先輩方の毎日努力している姿や最後まであきらめない姿、仲間とたくさん笑い励ましあう姿、すべてがかっこよく尊敬しています。先輩方は私たちのあこがれの存在です。これからは皆さんが築き上げてこられた小海中学校の伝統を受け継ぎ、先輩方の勇姿に習い、ますます誇れる学校にしていきます。

小海中学校を巣立ち、これからの人生を歩んでいく中で、たくさんの困難や壁が立ちふさがることもあると思います。そんなときは、この小海中学校での経験を思い出してください。仲間と笑いあった楽しい思い出は、皆さんを元気づけ、勉強や部活動で培った力は勇気を与えてくれるはず。この三年間の思い出を力にし、夢に向かって邁進してください。皆さんとともに過ごすことができたことを心から誇りに思います。ありがとうございました。

最後になりましたが、卒業される皆さんの健康とさらなるご活躍をお祈りして送辞とさせていただきます。

令和四年三月十七日
在校生代表 菊原あやめ



生徒玄関や体育館に掲示された在校生から卒業生への温かい気持ちが込められたメッセージや画像



3年生の手形に思いが書き込まれています。

答 辞 <卒業生代表 新津 蒼太 さん>

あたたかい春の日差しが僕たちを照らす今日。僕たちのためにこのような卒業式を開いてくださったことに心より御礼申し上げます。

3年前、今と同じような景色を見た入学式の日から、喜怒哀楽、たくさんの感情を友と分かち合ってきました。3年生になって、「3年間って早すぎるね。」とひとつひとつの行事を終えていくたびに、友達と話をしていました。生徒会長として仲間と共に、感染症対策に心がけ、生徒会活動を通して、なんとかみんながつながり1つの輝きへとなるように取り組んできたつもりです。僕たちの中学校生活は、ほとんどマスクでの生活でしたが、いろいろな活動を積み重ねていく度に、マスク越しからでもわかる一人ひとりの笑顔や満足感が伝わり、仲間と共に協力して歩んだ輝きや絆が、僕たちの中学校生活を彩りました。全校生徒のみなさん本当にありがとうございました。

そして、入学して三年間、先生方は時にやさしく、時に厳しく僕たちにたくさんの事を教えてくださいました。学習だけでなく、人間関係など多くの事を教わり、中学生という思春期真っ只中の僕たちを先生方は最後まで指導してくださいました。迷惑をたくさんかけたと思います。先生方からの言葉や姿は私たちの心を動かすものばかりでした。その教えを胸に、さらに成長していきたいと思います。三年間ありがとうございました。

そして、本日、中学校卒業を迎えるまで僕たちを支えてくれた家族にもお礼を言いたいと思います。特にこの三年間は反抗することも多かったと思います。それでも優しく、温かく接してくれたこと、本当に感謝しています。まだまだ迷惑をかけると思います。その分、親孝行もします。五年後、十年後の僕たちに期待しててください。義務教育を修了できることに感謝します。本当にありがとうございました。

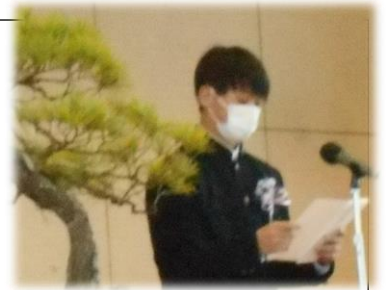
さて、本年度の生徒会は「太陽」というスローガンを掲げて取り組んできました。その中で、全校の皆さんで、学年を越えたつながりをたくさん感じてきました。中でも清流祭では、対話活動や生徒会企画などを通して多くの人と関わり、多くの笑顔が見られたことを僕は忘れません。アルミ缶収集など生徒会活動に積極的に取り組み、たくさんの人と関わろうとする、みなさんの一人一人の姿は太陽のように輝いていました。これからは、在校生の皆さんがこの小海中学校を背負っていきます。皆さんなら、素晴らしい小海中学校を築けると信じています。皆さんの力を一つにしてより良い小海中学校を創り上げていってください。

僕たちは、多くの方々の支えのおかげで充実した学校生活を送ることができました。今、僕には一番感謝したい人たちがいます。それは今日共に卒業する三十九名の仲間たちです。皆と行った修学旅行は僕にとって最高の思い出になりました。コロナ禍の中でしたが、実現した二泊三日の山梨、長野の旅。バス内、宿舎、そして様々な見学地でたくさん思い出をつくることができました。宿舎で聞こえる謎の音に盛り上がり、三年間のアレコレについて話したり、みんなと同じひと時を過ごすことができ、楽しいことのでっぱいの修学旅行でした。それ以上に毎日仲間とともに学習し、他愛もない話をする、それが僕にとって一番の幸せな時間だったと今、実感しています。この仲間に出会えたことは奇跡です。みんなに出会えたこと、いつも優しく接してくれたこと、本当に感謝しています。これからは、それぞれが違う道に進みます。しかし、僕たちが小海中学校で共に過ごした仲間であることは変わりません。最高の三年間をありがとうございました。

僕はまだこの場に立っても卒業の実感がわきません。先生方、在校生のみなさん、友達、と明日もまた同じような日々を送っているように思えます。それでも僕たちは自分たちの夢の実現に向けて、成長するために歩み続けなければいけません。自分の道に進まなければいけません。さらなる成長を求め、希望と勇気を胸に僕たち三十九名は今日卒業します。

最後になりましたが、お忙しい中ご臨席を賜りました、ご来賓の皆様、本日はありがとうございました。ここにいるすべての皆さんに今までの感謝の気持ちを込めまして、答辞とさせていただきます。

令和四年 三月十七日
卒業生代表 新津 蒼太



令和3年度末 人事異動者名簿

転出職員	転出先等	教科等	在籍年
堀籠英和	佐久市教育委員会	教頭	2
中村 郁	佐久市立野沢中学校	技術科・理科	8
掛川晃代	軽井沢町立軽井沢中学校	英語科	6
倉根秀子	御代田町立御代田中学校	英語科	12
西川郁朗	小海町立小海小学校	数学科	1
佐藤弘平	佐久穂町立佐久穂中学校	保健体育科	1
石原大暉	佐久市立東中学校	保健体育科	8
中野直輝	塩尻市立塩尻西部中学校	社会科	3
ポール・ウェリントン・ハリス	上田市立神川小、傍陽小 塩川小	A L T	3
市川治彦	ご退職	保健体育科	4

令和3年度末をもって、小海中を転退職する教職員の紹介をさせていただきます。

小海中学校の勤務年数には長短がありますが、小海中学校の生徒のためにそれぞれの役割で、願いや思いを込めて精一杯に取り組ませていただいた次第です。保護者の皆様をはじめ、地域の多くの皆様には、本当にお世話になりました。転退職員10名は、4月から新しい場所でそれぞれの立場で、これまで小海中学校で学ばせていただいたこと、小海中生の皆さんからいただいた笑顔や思いやりの心、沢山の思い出を糧に前に進んでいこうと考えています。これまでのお心遣いに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

最後に新型コロナウイルスの1日も早い収束を願うとともに、皆様の益々のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げます。お世話になりました。



多くの祝電をいただきました。ありがとうございました。



GET THE GLORY!



3 学年職員